

# 『時事直言』 No.1596 2023年4月7日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t\_masuda2019/

[instagram] t\_masuda2019/

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 英語] T\_Masuda\_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## 実戦、冷戦、、、何故争いが続くのか？

米中冷戦、ウクライナ戦争(実戦)の本質は何か？

誰が、何の為に冷戦や実戦を起こしたのか、それは戦争の結果を見れば本質がわかる。

そして戦争の本質を知ればどちらが勝利するかが分かる。

米中冷戦やウクライナ戦争の結果アメリカと欧州、そして中国とロシアの軍事費が増大化している。

東西陣営の軍拡競争続行である。

西側陣営、東側陣営を問わず、軍事予算と福祉予算は優先権があり、財源がなければ国債(借金)で賄わなくてはならない。

アメリカをはじめ欧州諸国の通貨発行権は、国家から完全に分離独立した中央銀行に握られている。

アメリカの中央銀行はFRB(連邦準備理事会=12地域の株式会社連邦銀行の集合体)である。

国家に軍拡の為の財源がなければ国債を発行して中央銀行から通貨の融資を受けなくてはならない。

アメリカも欧州諸国も潜在的財政破綻状態だから、軍拡予算を確保するには債務上限増の議会承認が必要であるが、与野党の政争の具にされ一筋縄にはいかない。

東陣営の中国やロシアの中央銀行は国家の一部門である為、通貨は必要に応じて発行出来るので軍拡予算は無制限に増額出来る。

いかなる戦争も争いも「カネがモノを言う」！

軍拡競争は自由に通貨が発行出来る東陣営の勝ちが決まっている！

米中冷戦を仕掛けたのはアメリカである。

ではアメリカは対中冷戦で負けることが分かっているのに何故仕掛けたのか。

バイデン政権はアメリカの頭脳ではなく手足だから、バイデン政治を見ても何も見えてこない。

キッシンジャーが背後にいる(私も若干関与している)「アメリカの頭脳」(メジャーシンクタンク)を見なくてはならない。

米中冷戦の理由が分かれば、明日が分かり、明日が分かれば、大儲けが出来る。

詳しくは「増田塾」でお話しします。

### 大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.132

#### 『眠れる獅子、日本が浮上する！』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 132 は**大好評発売中**です。内容は、\*「日米安保は日本の安全の要」と言う大嘘を暴くアメリカ\*日本に経済主権はなく、日本はまるでアメリカ用の財布！\*アメリカが日本に与えた憲法第9条無視の三法改訂を歓迎するアメリカ\*戦後一貫として不変のアメリカ対中政治・経済指針\*日中は歴史的新時代に向かう\*アインシュタインの言葉が蘇る時\*日本人だけの特権資産ポートフォリオなどです。

価格は、1冊 4,800円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。